

令和 4年 10月 17日

東員町議会

議長 三宅耕三様

東員町議会 議員 片松雅弘 ㊟

研修報告書

研修期間	<u>令和 4年 10月 13日 (木)</u>
研修（視察）先	玉城町社会福祉協議会
目的（テーマ等）	元気バスの運行管理と地域社会への取り組みについて
参加議員名 (複数の場合)	南部豊・片松雅弘・水谷喜和・大谷勝治・伊藤治雄・大崎昭一
資料添付の有無	有 ・ 無

※ 研修概要、内容、所感などは、次ページにご記入ください。

研修概要、内容、所感

令和4年10月13日(木)同じ県内の玉城町に視察研修に行きました。

玉城町は三重県のほぼ中央に位置し、行政面積は40.91km²・人口は15,176人・世帯数は5,689世帯で、東員町に比べると面積は約倍、人口は約6割、世帯数は約5.5割という町です。

平成8年に民間路線バスの大幅縮小があり、福祉バスとして、平成9年に29人乗りのマイクロバス2台を無料で運行開始をしました。

しかし、からバス・空気バスという名称で呼ばれるなどニーズに合わず、利用も少ないのですがサービス向上させたいが予算はかけられないとの事からオンデマンド交通の導入をされました。

オンデマンド交通は、予約制の乗り合いバスでタクシーよりも安価で、乗客がいなければ移動せず、路線バスより高効率で多数のバス停を設置できるためバス停への便が用など、社会からの期待度は高いのですが、予約という障壁・買い取りサーバーにかかるコストや運転手に伝わりにくい支持、オペレーターが予約を受け、経路を作りそして配車する土地勘や、高度な経路生成能力などが必要で遅延も発生しやすいなど課題も多くあります。

そこで玉城町では東京大学とオンデマンドによる「元気バス」の実証実験を行い、運行計画アルゴリズムによる管理システムに変更しました。

利用者は会員登録を行い、利用予約はオペレーターへの電話・携帯・インターネットによる申し込みで利用料は無料。

単なる移動手段だけでなく、介護予防事業や生活支援サービス・健康づくりシステムなどにも連携して、行う事で介護認定者数が減り、介護保険も抑制できて継続的な見守りにつなげて「おせっかい」なシステムの逆転発想としていつも参加する事業(介護、健康づくり)への見守りにつなげていけるように「地域ケア会議」とも連携して総合的に支援しているところが素晴らしいと思いました。

東員町でも、介護予防事業・配食サービスや支援などは行っていますが、お出かけやバスなどとは担当している社協と行政担当課と連携して行う必要性を強く感じました。

他の市町村のいろいろなやり方や事例を見ることはとても参考になりました。